

2019年3月4日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
1番5号 PMO 日本橋江戸通
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

中国、インド、東南アジアなどの伸びが注目される 照明器具の世界市場の調査結果

2030年予測(2017年比)

照明器具の世界市場 1兆154億円(43.1%増)

～LED化率は約90%にまで高まる。地域別ではアジアが拡大をけん引～

注目地域の市場

インド：1兆1,265億円(3.6倍) ～中長期的にはLED照明器具へのシフトが本格化～

東南アジア：9,173億円(72.9%増) ～特にタイ、フィリピンの伸びが大きい～

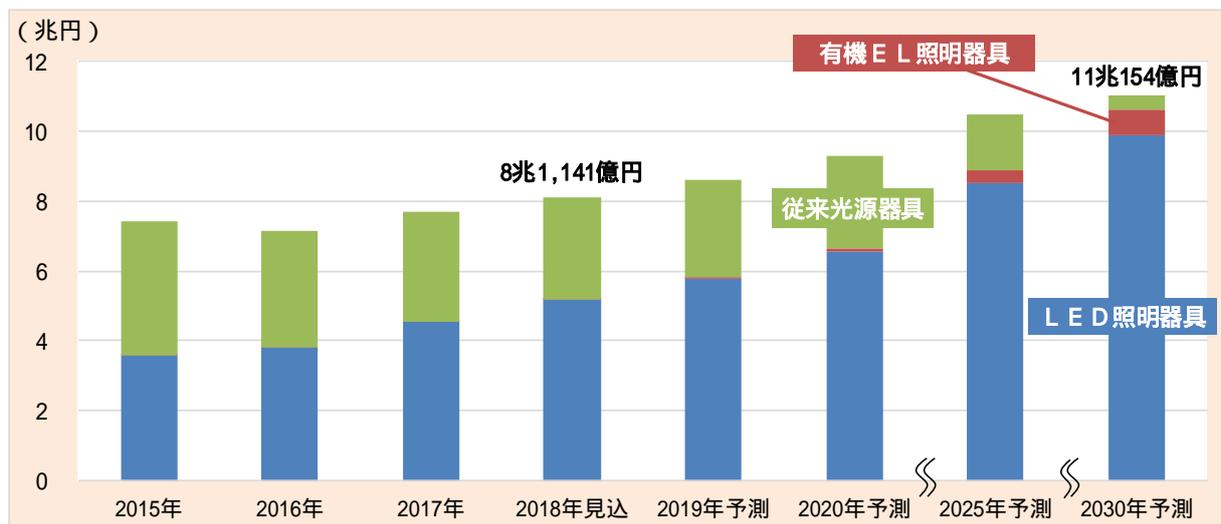
総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、従来光源照明からLED・有機EL照明へのシフトが進み、特にアジアを中心に需要増加が注目される、照明器具の世界市場を調査した。

その結果を「世界の照明器具/光源市場の将来展望 2019」にまとめた。

この調査では、照明器具(従来光源器具、LED照明器具、有機EL照明器具)のほか、管球ランプ(従来光源管球ランプ、LED管球ランプ)の世界市場についても地域別に現状を分析し、将来を予想した。

< 調査結果の概要 >

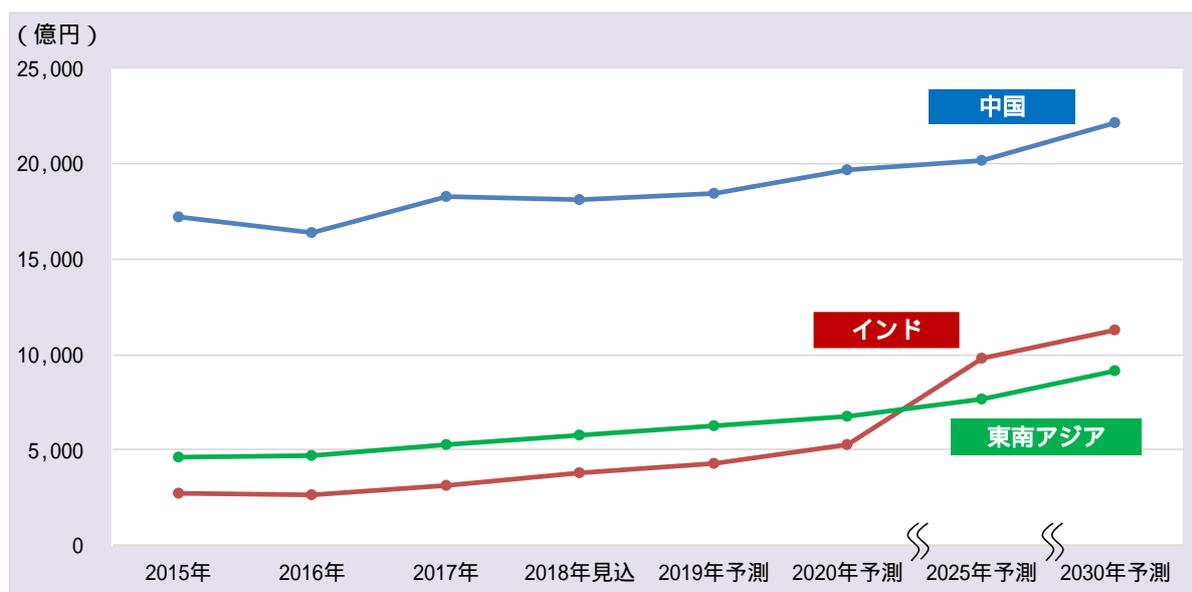
照明器具の世界市場



2018年の市場は2017年比5.4%増の8兆1,141億円が見込まれる。その内、LED照明器具は5兆1,665億円と60%以上を占め、堅調に伸びている。有機EL照明器具はまだ小規模ながら2017年比3.0倍の337億円が見込まれる。

2030年の市場は2017年比43.1%増の1兆154億円が予測される。その内、LED照明器具は9兆8,720億円、有機EL照明器具は7,364億円と堅調な伸びが期待される。特にアジアでは、人口増加や経済成長に伴う建築需要増、無給電地域の減少、省エネ製品の切り替え、エネルギー問題を背景とする省エネ政策や法規制の強化・推進などにより需要が大幅に増え、市場拡大をけん引するとみられる。

注目地域の市場（中国、インド、東南アジア）



中国は、照明器具の品質面の向上と価格低下が進んでおり、人口増加や経済成長を背景とする旺盛な建築需要や都市開発の進展、既存施設への導入により、中長期に安定的な市場拡大が予想される。

加えて、制御・ソリューション・IoT化など先進技術を盛り込んだ製品・サービス開発と普及価格への価格低下のスピードが速く、政策による推進力も強いことから、将来的には照明器具・技術の先進地域になると期待される。また、有機EL産業への投資育成により、有機EL照明器具の普及も進む可能性がある。

インドは、「National LED Programme」など、政府主導でLED照明の普及に意欲的である。無給電地域の開発や人口増加・経済発展に伴う都市化により、今後の市場拡大が予想される。

短期的には高効率照明製品の普及が予想され、中長期的にはLED照明器具へのシフトが本格化するとみられる。

東南アジアは堅調に伸びている。インドネシア、タイの構成比が高く、フィリピン、マレーシア、ベトナムが続く。各国、地域で堅調な市場拡大が期待されるが、特にタイとフィリピンが大きく伸びるとみられる。

タイは、ASEANの製造拠点として経済発展を続けており、電力不足への対応が継続的な課題である。電力不足を背景にLED照明へのニーズが高く、政府主導のLED照明の推進支援策の後押しもあり、今後の需要増加が予想される。

フィリピンは、経済発展に伴うエネルギー不足が課題であり、発電所の新設や省エネルギー製品の普及促進に取り組んでいる。特に政府主導で屋外照明や公共施設照明のLED化、住宅・非住宅における屋内照明のLED化が進んでいる。

管球ランプの世界市場

2018年見込	2017年比	2030年予測	2017年比
2兆1,909億円	101.8%	1兆6,897億円	78.5%

照明器具の市場は各地域で拡大が予想される一方、管球ランプの市場はアジアを除いて縮小が予想される。従来管球ランプからLED管球ランプへの切り替えによる長寿命化や、光源一体型である照明器具への需要シフトの進展により管球ランプのリプレイス機会が減少することが主な要因である。ただし、アジアではエネルギー需要の急増を背景に継続的かつ効果的な省エネ対策が求められているため、安価なLED管球ランプの普及推進策などがとられることにより、市場が拡大するとみられる。

<調査対象>

照明器具		
・従来光源器具	・LED照明器具	・有機EL照明器具
管球ランプ		
・従来光源管球ランプ	・LED管球ランプ	
地域		
・欧州	・北米	・アジア
・オセアニア	・その他	
アジアは別途下記の個別市場についても整理した		
・中国	・インド	・日本
・東南アジア	・タイ	・フィリピン
・シンガポール	・インドネシア	・ベトナム
・マレーシア	・その他東南アジア	その他アジア

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2019年1月

以上

資料タイトル：「世界の照明器具 / 光源市場の将来展望 2019」
体 裁：A4判 61頁
価 格：PDF版 300,000円+税
発 行 所：株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通
TEL：03-3664-5811(代) FAX：03-3661-0165
URL：<https://www.fuji-keizai.co.jp/> e-mail：info@fuji-keizai.co.jp
調査・編集：大阪マーケティング本部 第三部
TEL：06-6228-2020 FAX：06-6228-2030

この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL：<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>